

# すばるの四季

社会福祉法人 星の会  
No.35 2021年12月

263-0054 千葉市稲毛区宮野木町 395 番地 2  
TEL 043 (305) 5986 FAX 043 (305) 5987

## 「出会い」

施設長 剣持 公美

年の暮れに差し掛かるとあちらこちらで『年末ジャンボ宝くじ』という言葉がTVや街中で見聞きする機会が多くなる。「当選の確率は？」とふっとネットで調べてみると色々な確率について記載があった。例えば…「隕石が頭に直撃する確率 1/100 億」、「宝くじ 1 等が当たる確率 1/1000 万」、「黒ひげ危機一髪が飛び出す確率 7.7/100」そして、人と人が関係する人数を人生 100 年として、『何らかの接点を持つ人 30,000 人』『同じ学校、職場、近所の人 3,000 人』『親しく会話をする人 300 人』『友人と呼べる人 30 人』『親友と呼べる人 3 人』と記載がされていたが、皆さんはいかがですか？

星の会を利用の皆さんも沢山の人と出会い、別れを経験されてきていると思う。また、私も星の会で働かせていただいている事、利用者や職員との出会いなどを考えると「あの時にこうしていなかったら出会わなかった」と奇跡的なものを感じる。

障害をお持ちの方が、生まれ育った家を離れて、別の場所で生活を送るという選択をする時、自分から望んで自宅ではない場所で生活したいという方は少ないのではないかと思います。可能であればいつまでも生まれ育った環境で過ごしたいと思っていると思うが、いずれ家庭から離れた暮らしを選択する時がくる。その時にどのような環境が良いのか、本人、家族の方はすごく悩まれると思う。相談支援員として、他法人が運営しているグループホームを訪ねる機会があるが、グループホームの数が増え、コンセプトやアピールポイントを明確にしているところが多くなっている。個室タイプやペットと生活できるホーム、ネット環境や入浴設備と様々な設備が整っているホームなど。入居を希望される方からすると選択しやすい。しかし、環境や設備がいかに充実していても本質の支援、寄り添った支援が整ってなければ豊かな生活は送れない。困った時、悩んだ時に何も言わずとも表情で読み取り寄り添ってくれる世話人の存在が大切である。

星の会の理念は、『地域での当たり前の暮らし』『終の棲家』をコンセプトに利用者一人一人の個性を理解し、地域で安心して笑顔で生活や活動ができるよう、地域に根差し、社会資源の一つとして地域に発信していくことが我々のミッションである。

グループホームを利用している方の多くは、様々な生活環境を経験されている。中には『時代』と一言では片づけられないような辛い経験をされている方もいる。利用者の皆さんが『今が幸せ』『ここが自分の居場所』と生活がおくれるように心身の状況に合わせて環境や整備を整え、地域の社会資源と連携し可能な限り最後まで寄り添っていききたい。また、若い方には、次のステップを考えながら『自分でできることを増やす』『自立した生活を目指していく』など年齢や利用目的に沿った支援を行っていききたい。そして、その人らしい生活が送れるグループホームを目指し、現在、家庭等で生活されている方が、自ら星の会を選んでくださり『出会って良かった』と思われるように更に努力していききたい。





# ハウス花見川 BBQパーティー



コロナ禍、旅行どころか外出もままならない状況で、何かみんなで楽しめるものはないかと考え、ホームの庭でバーベキューをしようということになりました。コロナ禍の窮屈な生活に、うっぶんがあったのか、まァ～食べることに食べることに！そんなどこに入るの？という人もいて、天気も良くみんなで楽しむことができました。



## 【コラム】グループホーム体験記 ① (すみれ荘)

ワーク&サポートすばる 藤田

8月にすみれ荘の勤務体験をさせて頂きました。その週は上履きを持ち帰っている週でしたが利用者さんによっては先に済ませようという方もいれば、登所前日に洗うという方もいました。声をかけても動かない方もいました。一緒にと声をかけ洗いました。世話人さんは夕食の準備をしており、この中で対応は大変だと思いました。グループホームでは自室にて過ごされる方が多かったという印象でした。日中活動とは違う一面を見ることができて良かったです。ありがとうございました。

# W&S日中活動の様子

## 生活訓練

今年度より新たに生活訓練室の使用を開始しました。  
生活訓練では手洗い練習、歯磨きの練習及び仕上がりチェックなどを行なっています。



## 園芸活動

野菜作りをしたいという利用者の意欲的な気持ちを形にすべく、今年度より園芸活動を本格的に始動しました。プランターや土、苗などの購入から始まり、苗植え・水やり・収穫など参加している利用者が協力しながら日々取り組んでいます。



グループホーム体験記 ② (ハウス花見川)

ワーク&サポートすばる 渡邊

普段の日中活動では見られない生活の場を見る事ができ、勉強になりました。利用者の皆さんが、帰寮後どんな生活をされていて、どんな部屋で過ごされているかを知り、これまで見えなかった部分が見えたことで、日中活動での支援にも活かせる部分が沢山ありました。

その時の状況や、職員体制によって難しい場面もあるかと思いますが、もう少し見守りの目があるとより安心かと思いました。



# 法人内部研修会



～外部講師をお招きして

口腔ケアについて～

企画 研修委員会



9月に研修委員会が企画し、今年度初の内部研修会を行ないました。

一般社団法人日本訪問歯科協会の講師をお招きし、「口腔」について法人全職員が学びました。ワーク&サポートすばるでは、今年度より生活訓練室が新しくでき、昼食後はそこで歯磨きをして、職員が利用者お一人ずつに仕上げ磨きをさせていただいています。その中で、どのくらいの力で磨いたらいいのか、どこに気を付けたらいいのか、どんなケアをしたらいいのかなど、疑問に感じていたことを、専門の方から学ぶことができ、大変勉強になりました。口腔内の衛生状態は、身体全体へ大きな影響を及ぼすそうです。高齢になってくると、口腔内の汚染が誤嚥性肺炎にも繋がりやすいと言う事を知り、口腔ケアの必要性を改めて痛感しました。学んだことを早速現場に取り入れた点も多くあります。歯磨きケアの仕方はもちろんですが、食事前の嚥下体操をご教授頂き、実際に食事前に取り入れたり、仕上げ歯磨きをより安全に行える様、講師の方のアドバイスを参考に場を整えたりと、学びを生かし、取り組んでいます。受講した職員からも、「利用者へのアプローチの仕方を含め、口腔ケアについて分かりやすく説明してくださり、理解が深まった」「普段の支援にさっそく取り入れていきたい」などの感想が出ていました。また、今回学んだことで、「じゃあ、こういう場面だとどうしたらいいのだろうか?」とこれまでよりも深い部分で疑問を持つようになり、職員の学ぶ意欲の向上にも繋がったと感じます。安心安全なより良い支援を目指し、今後も現場で生きる研修を行なっていきたいと思えます。

研修委員会 渡邊

## ありがとうコーナー

濱崎 伸夫 様 ・ 堀合 富子 様  
白倉 春子 様 ・ (有) 林屋商店 様  
(株) ミツワフード 様 ・ 興栄燃料 (株) 様

## 編集後記

コロナ禍で外出も心配。ホームで休日を楽しく過ごすことを皆で考え、ホームの仲間が仲良く暮らせる環境を皆で作る良いチャンスが出来たと思う。そして楽しい記事が出来た。